

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>まず、なぜ2015年までに100%にしなければならないのか理解できない。</p> <p>人としての生活をおくる上で、真に必要なものであれば、国費を投じて整備すべきであるが、90%の整備率に関わらず30%の利用率である現状では、その必要性が不明確である。</p> <p>医療・教育・行政等の言葉があるが、国民が納得するだけの具体的内容を示さないと、「コンクリートから人へ」と言いつつ、使われないインフラに国費を投じることになるのではないか</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>NTTの組織にあり方を変えれば、公正競争が活性化し低廉な料金が実現すると考える根拠がわからない。光アクセスを保有するNTT東西会社の財務状況を見ても、暴利を貪っているように思えない。一兆円を超える整備費が組織を変えることによって少なくなるのか？</p> <p>受けのいいCMとアメリカで開発された端末を独占販売して、光アクセスに設備投資をしないで儲ける会社のビジネスモデルに有利なだけではないか。</p> <p>日本のメーカーが沈むだけで、日本の将来のためになるとは思えない。</p> <p>「研究開発や技術立国」に対して低い評価をしている民主党政権のもとこの政策を進めることに対して不安を抱かざるをえない。</p>